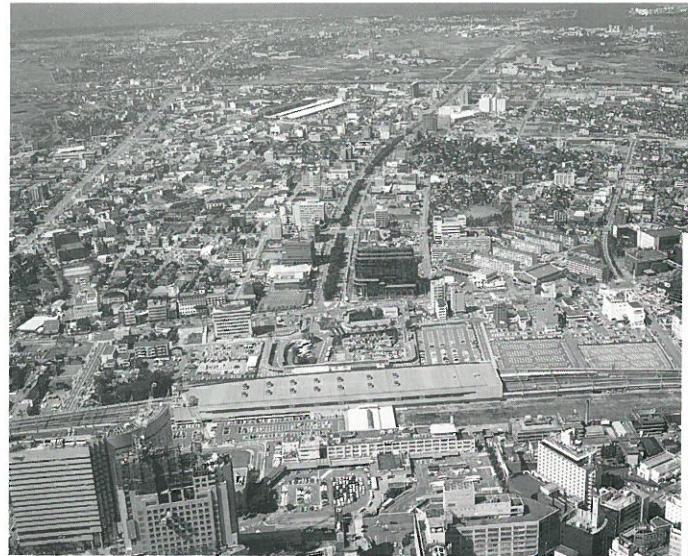


委員会組織を強化

金沢駅西開発協議会



▲空から眺めた
駅西50m道路界隈

▼金沢港の船上から
眺めた駅西方向



金沢駅西開発協議会（会長：北村友正 金沢商工会議所副会頭）では、従来の企画広報委員会と開発推進委員会を廃止し、新たに「新都心建設委員会」「交通対策委員会」「景観創出委員会」「ウォーターフロント委員会」の4委員会を設置し、会員の方々に委員会加入を募りました結果、105の会員の方から延べ145名の委員会加入の申し出がございました。

尚、各委員会の正副委員長につきましては、新都心建設委員会の委員長は、川上嘉一さん（川上産業株社長）、副委員長には、田原基さん（駅西まちづくり地権者の会会長）と古川利之さん（株）日本長期信用銀行金沢支店長）、交通対策委員会の委員長は、中橋秀夫さん（中橋タイル株社長）、副委員長には、佐久間信夫さん（日本開発銀行金沢支店長）と村上紀夫さん（ニューハウス工業株社長）、景観創出委員会の委員長は、宗廣満夫さん（山和株社長）、副委員長には、緩詰潔さん（シンコール株社長）と佃一成さん（佃食品株社長）、ウォーターフロント委員会の委員長は、新村利夫さん（株）五井建築設計研究所社長）、副委員長には、山守敏雄さん（大野校下町会連合会会长）が、それぞれ就任されました。

今回、新設致しました各委員会の基本方針は、次の通りです。

新都心建設委員会

主として金沢駅港線界隈の街づくりに関わる諸問題（立地施設、修景、誘導施設など）について検討し、新都心づくりを推進していく。

交通対策委員会

駅西地域の道路体系、バス路線、歩行者空間、大量輸送機関、新交通の導入などを検討し、交通機能面ですぐれた街づくりを推進していく。

景観創出委員会

駅西全体の景観問題を検討し、住む人、働く人にやさしい街・賑わいの街づくりを推進していく。

ウォーターフロント委員会

金沢港や河北潟残存水面など、水を活かした水際線のあり方を検討し、ウォーターフロント開発を推進していく。

その後、9月中旬から下旬にかけ各委員会において、行政サイドからの各専門分野のゲストを交え、それぞれ第1回目の委員会を開催し、各委員から活発なご意見を頂戴しました。新都心建設委員会では、新都心建設実現に向けての情報の収集・提供、また、税制面を含めた新都心づくりに効果のある新しい施策の提案。景観創出委員会では、用水の再生や素晴らしい駅西の夜景づくり、駅西イメージづくりなど。ウォーターフロント委員会では、ポートビルの建設と大野川の再生計画など。交通対策委員会では、バス体系、環状道路、特に新交通システム導入など、数多くの意見がございました。今後は、さらに委員会を重ね、また、研究懇談会・講演会の開催、先進事例の調査研究などを実施し、各分野で駅西の街づくりについて検討をしていくものであります。

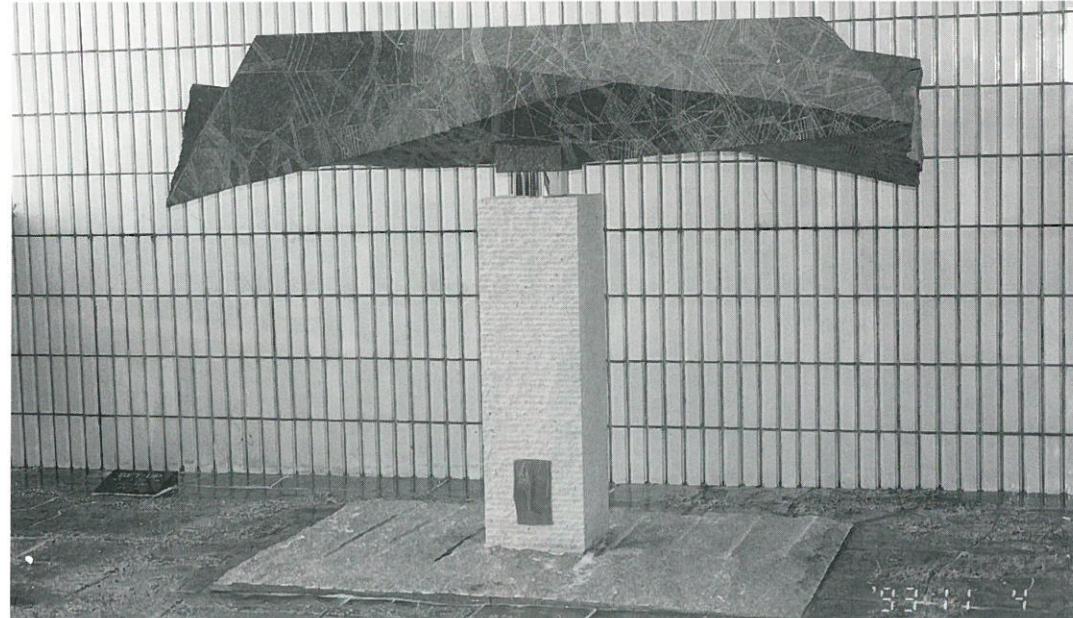
（協議会事務局）

金沢問屋センターニュース

1993.12

No.57

協同組合 金沢問屋センター 金沢市問屋町2丁目61番地 ☎37-8585 ●発行者／越原哲郎



11月4日に除幕式が行われた小川甚次郎顕彰碑「和」

小川甚次郎顕彰碑の除幕式にあたり

（協）金沢問屋センター

総務委員長 西谷弘次

平成5年1月28日、小川甚次郎氏は組合員一同の再起の願いも及ばず、惜しまれて静かに逝かれた。

二十数年の協同組合金沢問屋センター理事長在任については、石川県はもとより全国卸商業団地協同組合連合会の中においても傑出したものであり、その飛躍は産業界注目の指導者として位置されて来たことは衆目の認める所であった。

協同組合金沢問屋センター理事長としてだけでなく、協賀賀染振興協会理事長、石川県物産協会会長、石川県伝統産業振興協議会会長など各種経済文化団体の要職は数知れず、常に氏の和の精神を基調に、其のカリスマ的指導力は稍ともすれば不調和の団体を氏ならではの実行力で見事に軌道にのせられ、その実績は枚挙にいとまがありません。

又、小川株式会社のオーナーとして名実共に金沢問屋センターの最優良企業として範を垂れられ、幾多の公職も立派にこなされ、其の両面に亘る活躍振りは誠に敬服と驚きであります。

この多忙な中にあって、氏は日頃から人生観について次の様に語っておられた。

人生には5つの計りごとがある。目標を立てそれを実践して行かねばならない。

1. 生計 自分の仕事を為し遂げるのに自分の体をどう養って行くか、毎日如何に養生して行くか、考えねばならぬ。

1. 身計 社会人として職業人として、如何に自分の身を処して行くか。

1. 家計 家庭の重要性をとかれ、人間教育の根本は家庭教育である。

1. 老計 「老去佳境に入る」年をとることは楽しいことだ。人生の佳境を味わうこと。

1. 死計 社会における身の引き方。人生の終りについて常に心され80年の生活の中で何をして来たかという自戒。

この様なことを文字通り我々にも示され、自ら反省の中から立派に実行されました。

この偉大な業績を何時までも感謝と我々組合員の励みとして、後世に伝える様、このたび組合員の総意により小川甚次郎顕彰碑の除幕式がとり行われました。石柱・陶板張りで陶芸家高光一生氏の指導のもとに金沢美術工芸大学田村一博氏共作で、石柱の中に氏の旧友であられた芸術院会員故高光一也氏の婦人レリーフがはめこまれました。床面は氏の好きな緑色を基調とした陶板で、向い側に設置されてある当金沢問屋センター開設生みの親である丸与商店創始者、故吉野省吾氏顕彰碑の白と対照的になっており、育ての親とが正に暖かく当組合を見守っておられるかの様である。

作品の内容については製作者の説明にまたねばならないが、我々は其を見る時、自からが何かを感じ何を訴えていられるかを知ることであろう。忙しさの中に心を亡ぼすことなく、忘れる事なく、正に「壺中天」を実践され、仕事の中に必ず自分的生活をもっておられた指導者に我々は再び感謝の念を捧げたい。

第21回 社員園遊会

恒例の社員園遊会は10月2日(土)、会館前道路を歩行者天国にして開催された。

「のみの市販売大会」では組合員商社28社が会館前道路と大ホール・パルス内に店を構え、好天にも恵まれ多くの人達で賑わった。

今回は金沢美大の学生による似顔絵コーナーや、大声コンテストもあり、大変好評であった。

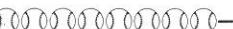


勲五等瑞宝章 受章



株小堀酒造店 社長 小堀 甚九郎 氏

長年にわたり調停委員として円満な解決に努め、石川調停協会連合会副会長を務めるなど、調停制度の声価保持に貢献した。



第26回 商社対抗野球大会

5月9日(日)から16チームが参加して開催された第26回商社対抗野球大会は、7月29日(木)の決勝戦で富木医療器(株)が北村電機産業(株)Aを破り、初優勝を遂げた。

優勝 富木医療器(株) 初優勝
準優勝 北村電機産業(株)A
第三位 大宗(株)
〃 小川(株)

最優秀選手賞 吉川康成 富木医療器(株)
敢闘賞 田淵秀月 北村電機産業(株)A
打撃賞 林敏弘 富木医療器(株)

富木医療器(株) 水口監督の話

「去年ソフトボールで優勝させていただき、今年こそは野球でと思っていました。しかも当たると必ず負けていた北村電機さんに勝っての事ですから、嬉しさも一層です。優勝旗を飾る場所は十分ありますので、来年はぜひ2本並べたいですね。」



優勝 富木医療器(株)



吉川康成選手

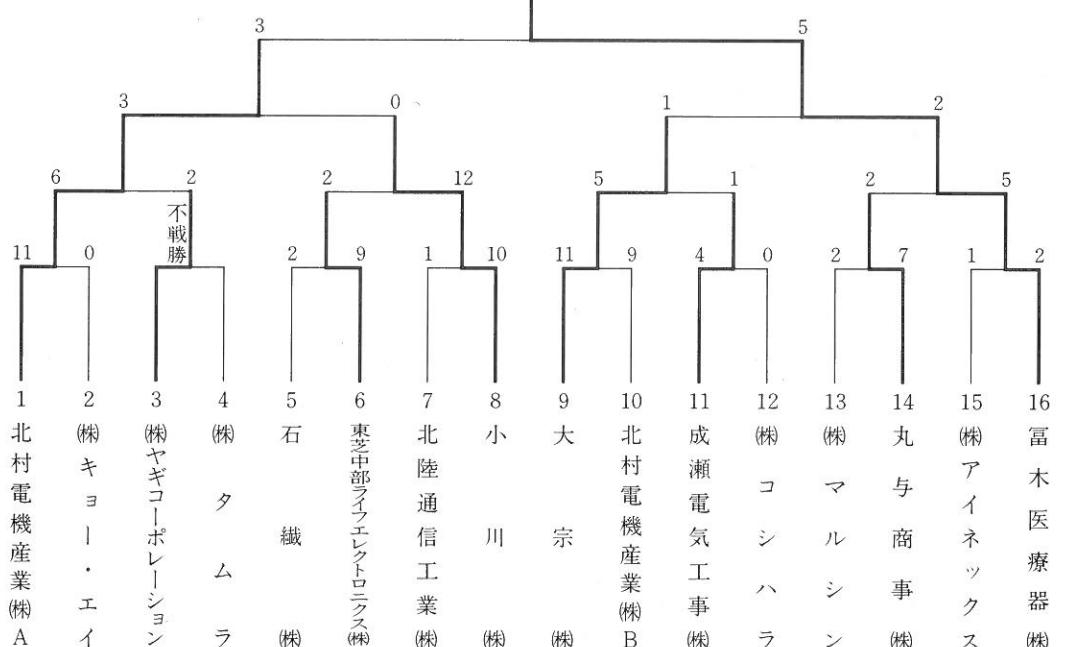


準優勝 北村電機産業(株)A

チーム	1	2	3	4	5	6	7	計
北村 A	0	0	0	0	0	1	2	3
富木	2	0	1	1	1	0	X	5

※バッテリー 北村 A 小島一柳
富木 吉川一泉

富木医療器(株)



第19回 商社対抗ソフトボール大会

第19回商社対抗ソフトボール大会は、6月6日(日)参加18チームで行われた。

午後3時からの決勝戦では大宗(株)が(株)ヤギコーポレーションを5対1で下し、初優勝を果たした。

優勝 大宗(株) 初優勝

準優勝 (株)ヤギコーポレーション

三位 (株)キヨー・エイ

" 北陸通信工業(株)

最優秀選手賞 宇野敏彦 大宗(株)

敢闘賞 東島一彦 (株)ヤギコーポレーション

打撃賞 小森智美 大宗(株)



優勝 大宗(株)



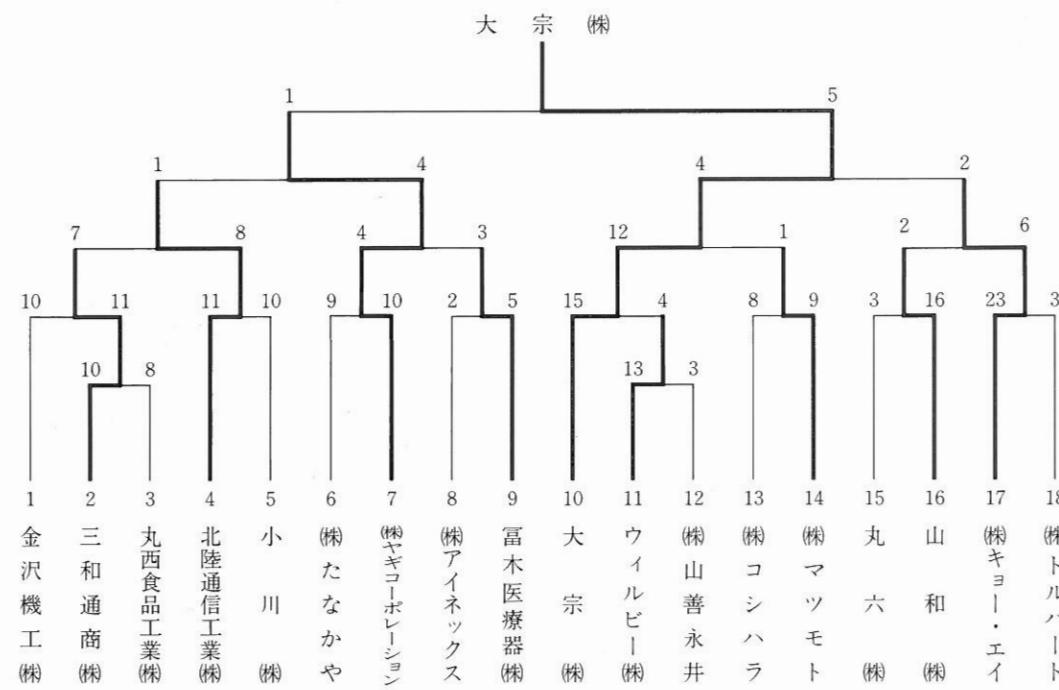
宇野敏彦選手



準優勝 (株)ヤギコーポレーション

大宗(株) 佐野監督の話

「ソフトボールをして、一致団結することがみんなの和になり、仕事の面でもプラスになります。会社の理解もあり、感謝しています。この勢いで仕事も、来年も頑張ります。」



第6回 ゴルフ大会

8月1日(日)「金沢国際ゴルフ倶楽部」において第6回ゴルフ大会が開催された。

今回は14社、23名が参加、午前7時10分よりスタートして腕前を競い合った。

	G	H	N	
優勝 南保 弘(株)マツモト	103	33	70	ペスグロ賞 小倉外志朗
準優勝 多田 利明 多田与(株)	94	20.4	73.6	ニアピン賞 南保 弘(株)マツモト
第3位 川崎 晃 川崎(株)	79	5	74	〃 松村 克雄 尚和印刷(株)
第4位 伊藤 淳蔵 (株)アイネックス	85	10	75	〃 德田 好彦 多田与(株)
第5位 北村正一朗 (株)前垣	98	23	75	〃 石川 立夫 (株)キヨー・エイ
第7位 川崎 謙介 川崎(株)	109	33.6	75.4	ドラコン賞 伊藤 喜吉 西本産業(株)
第10位 植竹 格 (株)ウインズ	87	11	76	〃 川崎 晃 川崎(株)
第15位 松村 克雄 尚和印刷(株)	96	16	80	〃 伊藤 淳蔵 (株)アイネックス
第20位 德田 好彦 多田与(株)	122	36	86	〃 植竹 格 (株)ウインズ
アビ賞 田村 憲司 (株)タムラ	129	36	93	

「小川甚次郎顕彰碑」除幕式にあたって

小川株式会社 社長 小川利郎

大輪の菊の花がふくいくと薫るさわやかな秋晴れの佳き日に、協同組合金沢問屋センターの皆さまのご好意により、亡き父小川甚次郎の立派な顕彰碑の除幕式を行っていただきまして、遺族として感激と感謝の気持ちでいっぱいあります。

月日の経つのは早いもので父甚次郎が亡くなりまして、はや九ヵ月余になります。「問屋センター十年のあゆみ」や「小川株式会社の社史」をひもとき、ふりかえって亡き父の経歴を見ますとき、山田藤太郎さんや吉野省吾さんと一緒に昭和38年の問屋センター組合設立、そして、問屋団地造成・店舗建設を経て昭和42年10月の完成式までの間、問屋センター理事・建設委員会委員長として団地造成に情熱を傾けた、とあります。その後、副理事長を経て昭和48年4月に問屋センターの理事長に就任、以来、本年1月28日に亡くなるまでの20年弱の期間を、理事長としての職を勤めることができましたのも、問屋センターの役員さんはじめ、組合員の皆さまや事務局の役職員の方々の温かいお気持ちのご支援のおかげであります。

亡き父が常々言っておりましたが、商団連の副会長はもとより、金沢商工会議所の副会頭や県物産協



会、市観光協会など、多くの公職を積極的にこなす事ができるのも推薦母体である金沢問屋センターが、事業面においても財政的にも、内容が非常に良く、しかも、団結力がすぐれている有力な経済団体であるからだとのことでした。そして組合の運営は「特に人の和がいちばん大切」と言っておりました。

まぶしい程の秋の陽ざしが流通会館「パルス」のベージュのタイルを、ひときわ明るく照らし、立派な建物の輝きを増して見せています。その一角に、亡き父の顕彰碑を建てていただきまして、ほんとうにありがとうございました。